

夏期保育が始まり、園庭に歓声がこだまする！

～親水公園で遊んだり、プール遊びをしたり、スイカ割りをしたりと、楽しさ満喫の3日間！～



8月29日(水)から3日間、夏期保育が始まりました。

久しぶりにほとんどの園児が登園し、朝から歓声が園内に響き渡りました。久しぶりに会うお友だちと談笑したり、園庭の遊具で一緒に遊んだりして過ごしました。

9時45分に、かおり先生から「年中組のお友だちはお部屋に戻るように。」という放送がありました。この日(29日)、年中組さんは上三川町にある「蓼沼親水公園」へ行くので、その用意のための集合です。お部屋の中で水着に着替えたり、タオルや水筒、履いていくサンダルなどを確認したりしました。

10時20分に園バスに乗り込み出発。10分程度で目的地の公園に着きました。芝生と人工的に創られた小川が自然に溶け込み、また子どもが好みそうな遊具も置かれています。数組の家族連れが小川で遊んでいました。

木陰に荷物を置き(タオルはきちんとたたみます。何気ない「躰」が大切なのですね。)、自由行動の始まりです。小川の中に入り水を掛け合ったり、



ポンプになっている浮き島に乗りジャンプを繰り返したりと実に楽しそうです。中には、小川には目もくれず「ターザンロープなどの遊具」に真っ先に向かう子も。40分程度遊んだ後クラスごとに記念撮影をしました。以前に比べ並ぶのも素早くなり、時間をかけずにきちんと撮ることができました。



この日、年長組は「スイカ割り」にチャレンジしました。10時過ぎにお外での遊びをやめてお部屋の片付けをしました。10時30分ごろから待ちに待った「スイカ割り」です。園庭内の2箇所にスイカを置き、クラスごとに全員がチャレンジしました。タオルで目隠しをして、3回まわってからスタートします。

距離は約5m。棒を手に持ち、周りで見ているお友だちの声を頼りにスイカのある場所をめざします。「右、右、右」「そのまま、真っすぐ」「そこだよ」などの声がかかります。足取りはおぼつかないものの、全員が何とかスイカの近へ行くことができました。「エイ！」と気合を入れて棒を振り下ろします。多くの子はスイカに当てることはできませんでしたが、中にはしっかりと当たった子やかすった子も。しかし、棒が細かったことや子どもたちの力が足りなかったことなどが原因で、スイカを割ることはできませんでした。



スイカ割りの後は、おやつとして用意されていたスイカを美味しくいただきました。2～4

個程度食べる子が多い中、6個以上食べた子も数名いました。「冷たくてとても甘かった。」という感想がほとんどでした。【写真】上6枚・・・親水公園で楽しそうに遊ぶ子どもたち。先生が水の中で転ぶというハプニングも！

下4枚・・・真っすぐに歩くことも大変。おっかなびっくりの足取りでスイカの近くへ。当たってもなかなか割れません！